

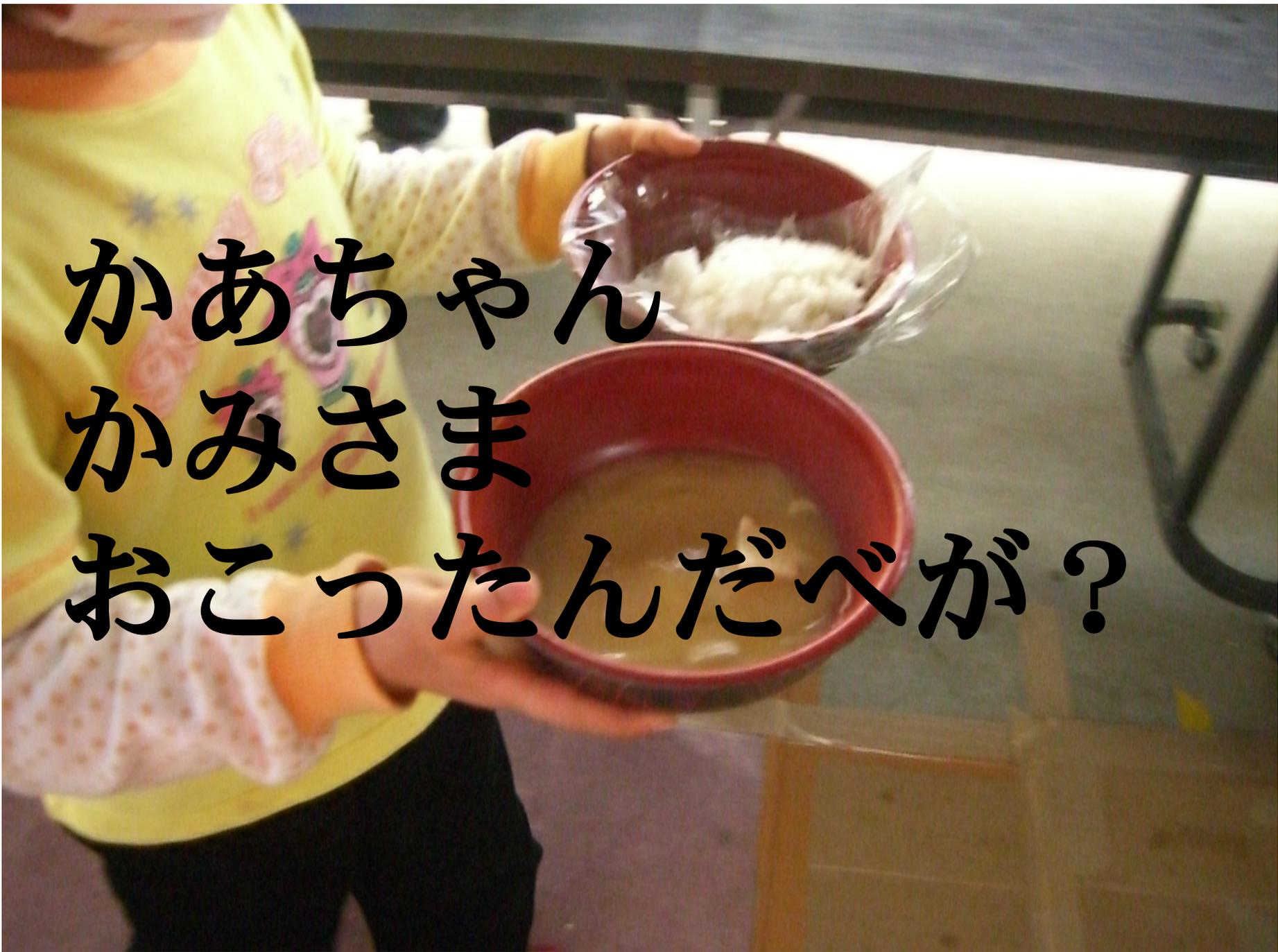
「かあちゃん かみさま おこったんだべが？」  
～大災害時における、子どもの食の問題と対応について～

## 野島断層・阪神淡路大震災震源地の活断層

この「大きなずれ」が地震を引き起こし、支援活動においても被災者に対する支援者の考え・支援方法等の「ずれ」が被災者への配慮や活動に大きな影響を及ぼすことを痛感した。

震災の引き金となった活断層・野島断層の断面

「震災を語り継ぎ、教訓を未来に活かし、  
将来起こりうる大地震で少しでも犠牲者を減らしたい。」

A young child wearing a yellow long-sleeved shirt with a floral pattern and a white polka-dot apron is holding two bowls. The child is standing in a kitchen area. In the foreground, the child holds a red bowl containing a light-colored liquid. In the background, the child holds a clear glass bowl containing white rice. The text is overlaid on the image in a large, black, stylized font.

かあちゃん  
かみさま  
おこったんだべが？

# 震災の概要

2011年9月20日現在

	阪神・淡路大震災	東日本大震災
発生日時	平成7年1月17日 午前5時46分	平成23年3月11日 午後2時46分
震源地	淡路島北部 北緯34度36分 東経134度03分	宮城県牡鹿半島 三陸沖 東南東約130km付近
震源の深さ	14km 直下型地震(タテ揺れ)	約24km(暫定値) 海溝型地震(ヨコ揺れ)
規模	マグニチュード7.2	マグニチュード9.0
各地の震度	震度6 神戸・洲本、震度5 豊岡、震度4 姫路	震度7 宮城県栗原市
死亡者	6,434人(安否不明 3人)	1万5,799人 安否不明(4,053人) 避難者 7万4,900人 (8日現在復興対策本部調べ)



拝殿の屋根が落ちた生田神社



# 災害時の食事や栄養補給の活動の流れ

フェイズ		フェイズ0	フェイズ1	フェイズ2	フェイズ3	
		震災発生から24時間以内	72時間以内	4日目～1ヶ月	1ヶ月以降	
栄養補給		高エネルギー食品の提供		たんぱく質不足への対応	ビタミン、ミネラルの不足への対応	
被災者への対応		主食(パン類、おにぎり)を中心	炊き出し			
		水分補給		弁当支給		
		※代替食の検討				
		・乳幼児				
		・高齢者(嚥下困難等)				
		・食事制限のある慢性疾患患者	巡回栄養相談			
		糖尿病、腎臓病、心臓病 肝臓病、高血圧、アレルギー			栄養教育(食事づくりの指導等)	
場所						
炊き出し	避難所	避難所、給食施設		避難所、給食施設	避難所、給食施設	
栄養相談		避難所、被災住宅		避難所、被災住宅	避難所、被災住宅、仮設住宅	

## 災害発生時の役割

- ・状況把握(被害状況、下記の活動等を行うための情報)
- ・食料・水の供給・炊き出しに関する栄養管理
- ・災害弱者(高齢者、乳幼児、慢性疾患患者等)等への食生活支援
- ・被災者(避難所、避難所外、仮設住宅)全体への食生活支援

## フェイズ0 (概ね震災発生から24 時間以内)

- ・この時期の課題としては、最低限のエネルギー・水分確保であり、備蓄食料の放出、救援物資の供給、不足食料の要請、炊き出し計画など
- ・最初は熱を加えなくてもよいものや調理しなくてもよいもの(乾パン、缶詰、菓子類等)を優先的に活用する
- ・乳幼児用食品(ミルク、ベビーフード等)、高齢者用食品、病態用食品、栄養補助食品、アレルギー用食品等が不足している場合には災害対策本部や地域機関と連携し確保

## フェイズ1 (概ね震災発生から72 時間以内)

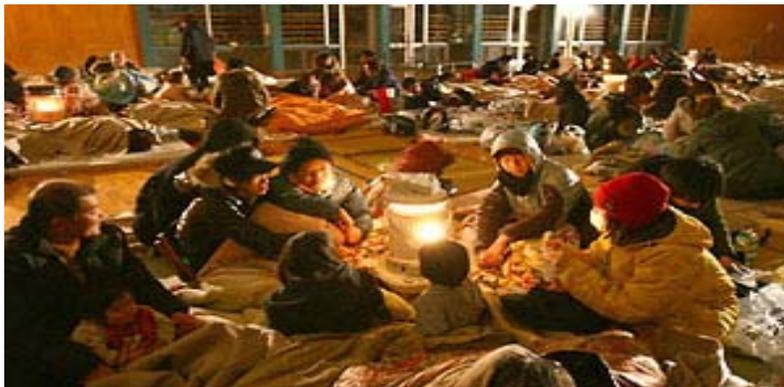
- ・基本的にはフェイズ0 から継続した活動が主
- ・この時期は救援物資などが避難所に配給されるようになるが、エネルギーと水分の確保が課題
- ・この時期は断水等の影響でトイレが十分使用できず、水分摂取を控える傾向がみられ、脱水等が問題となる。エコノミークラス症候群の予防の観点からも水分摂取への注意喚起が必要
- ・避難所における巡回栄養相談を計画する

## フェイズ2 (概ね4日目から1か月まで)

- ・慣れない避難生活のために慢性疲労や体調不良者が増え、便秘、口内炎、食欲不振、風邪を引きやすい等の症状がみられ、健康保持のために食事内容がより重要になる時期
- ・この時期には救援物資のおにぎりやパン等の主食類が余剰気味になってくる
- ・エネルギーと水分確保が中心の時期から、タンパク質やビタミン類などへの配合が必要となり、可能な限り、主食・主菜・副菜が揃う食事が提供できるような調整が必要となる

## フェイズ3 (概ね1か月以降)

- ・この時期になると、避難所から仮設住宅への移行が始まる。仮設住宅における生活はこれまでの生活と異なり、食生活にも大きな影響を及ぼすことが明らかとなっている
- ・災害前と同等の調理設備を整えるのは困難
- ・疲労・不安などにより調理意欲の減退
- ・仮設住宅の住居状況および周辺の食環境の把握、および訪問栄養指導を行う
- ・ひとつの鍋やフライパンでできる簡単バランス食の紹介、出来合のお総菜やレトルト食品等を利用する際のアドバイスを行う



災害時の栄養・食生活支援マニュアルより  
独立行政法人 国立健康・栄養研究所  
社団法人 日本栄養士会

東日本大震災 日本栄養士会災害支援活動  
様々な活動の場面から見えてきた問題点

- I. 日本栄養士会の災害支援体制について
- II. 人材派遣等について
- III. 物資支援等について
- IV. 避難所の状況について
- V. 今後の課題と対応について
- VI. JDA-DAT(災害時緊急支援栄養チーム)  
について
- VII. 絆・ささえあい・感謝



## 日本栄養士会の災害支援体制（対応1）

# 東日本大震災 日本栄養士会の取り組み

- 3月11日 東北関東大震災発生
- 3月12日 危機管理マニュアルに基づき、日本栄養士会長以下各役員、各都道府県栄養士会長との緊急連絡体制及び支援体制の構築について協議
- 3月13日 関西在住の小松常務事務取扱、木戸常任理事・下津常任理事・中村丁次常任理事の3名が東北関東大震災緊急対策会議（於：同志社女子大学）を開催
- 3月14日 厚生労働省より「東北地方太平洋沖地震緊急対策本部を立ち上げるへの対応について（協力依頼）」
- 3月15日 東北関東大震災緊急対策本部を立ち上げる
- 3月17日 東北地方太平洋沖地震緊急対策本部を立ち上げる
- 3月17日 東北地方太平洋沖地震に伴う災害発生により、避難食・食生活の支援について」（協力依頼）
- 3月17日 日本プライマリーケア連合学会東日本大震災支援プロジェクト（PCAT）と連携し、協働支援のための日栄先遣隊（迫専務）派遣（宮城県気仙沼市）
- 3月28日 災害支援管理栄養士・栄養士のボランティア派遣開始

～私たちは、手を差し伸べる使命と知識、さらに技術を持っています～

人材支援、物資支援（濃厚流動食・プロテイン・新生児用ミルク・ベビーフード・ビタミン剤・ビタミン強化米・牛乳等）支援金・義援金募集、情報提供等を中心に対応を行う。

災害支援管理栄養士・栄養士として気仙沼市、石巻市、岩手県遠野市等にて支援活動を実施する。平成23年6月28日付 登録管理栄養士等767名 延べ派遣人員として実働994名 被災県派遣人員は含まず

# 現地災害対策本部と派遣者の宿舎

宮城県気仙沼市・石巻市、岩手県遠野市

気仙沼市健康管理  
センター「すこやか」



## 人材派遣(対応2)

### 日本栄養士会が実施する災害支援管理栄養士・栄養士の派遣(概要)



## 災害支援管理栄養士として行動すべき課題

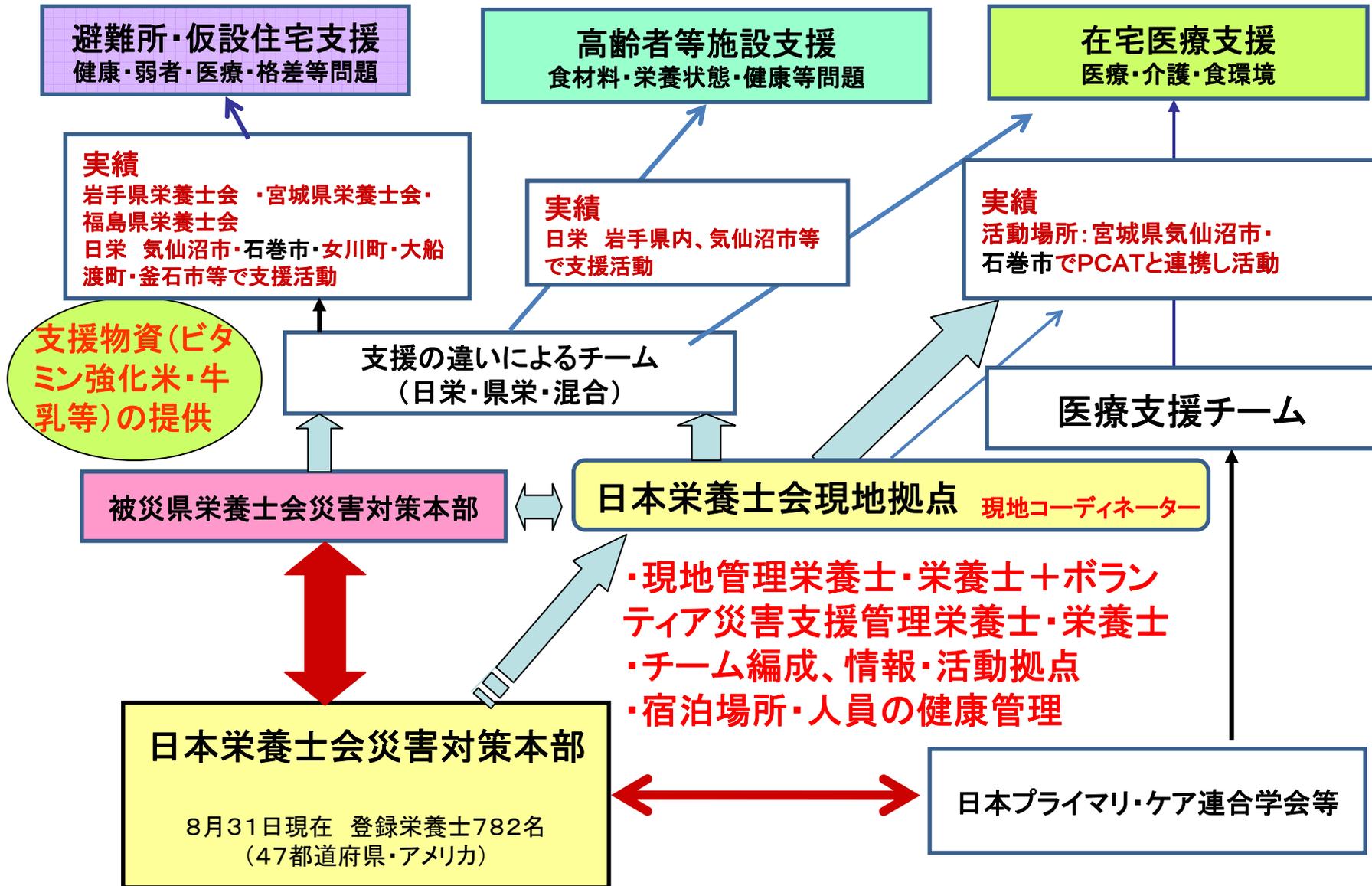
- 避難所(集団)の栄養状況の把握と格差是正  
(避難所における食事提供状況・救援物資の把握等)
- 避難所(個別)の栄養状態の把握と対応
- 在宅等医療チームとの連携  
(循環器疾患・糖尿病・高齢者等健康問題を含む)
- 被災施設等への栄養・物資等支援
- 行政、県栄養士会・関係団体等との連携・調整
- 情報収集

在宅で避難されている被災者の栄養状態の把握と対応



情報を制する者は災害を制す。情報をいかに迅速に適確に収集し、機動力を発揮するかがポイント。それには、拠点整備とコーディネーターの配置が重要課題。

# 東日本大震災での日本栄養士会の災害対策支援活動(8月31日現在)



平成23年8月31日現在 派遣者数 406名 延べ人員実働約1,218名

自衛隊管轄からの支援物資



ボランティアからの支援物資



支援物資の流れが大きな問題

遊楽館避難所

行政のコントロール機能が働いていない、機能する状況でない。



石巻市からの支援物資

個人からの支援物資

関係団体からの支援物資

日本栄養士会



国内外から被災地に直接支援物資が搬入される。倉庫が山のような状態になり、何が入っているのかわからない状況。



(例) 900個のさば缶と300個のかに缶があったと仮定する。

900個と300個とも配布され余剰品となり在庫として扱われる。物資の余剰



200人規模の避難所

さば缶100個  
かに缶100個

管理栄養士が考える



(例) 高齢者・幼児向けにかに缶を優先配布する。

900個・300個ではいずれも不足するので配布なし。物資の不足



1,000人規模の避難所

さば缶800個  
かに缶200個

### 物的支援(対応3)

- 食料、水等の支援については国(農水省)で一本化。
- 特定保健用食品・栄養補助食品等は健康・栄養食品協会が国の指示で手配。
- **3月13日、特殊食品について賛助会員に対して協力依頼。**  
**提供の可否、提供可能食品及び依頼方法等の回答を得た。**
- 配送方法等が課題。

**:経腸栄養剤の適正使用に関するお願い** 事務連絡 平成23年4月1日 厚生労働省医政局経済課保険局医療課

※入院患者でいわゆる医療食等を用いた食事療法が可能な患者については、出来る限り院内での食事療養費で対応していただくこととし、在宅患者等への医薬品を優先的に使用すること. . . .

### 日本栄養士会が支援した食品・物品 (総額 2億円相当)

ビタミン強化米、サプリ米、**マルチビタミン**、ミネラルふりかけ、  
**牛乳**、**スキムミルク**、**粉ミルク**、  
スポーツ飲料、野菜ジュース、果汁飲料、ほうじ茶、青汁、  
**離乳食**、**幼児食**、**アレルギー源除去離乳食**、  
ゼリー飲料、とろみ剤、高蛋白食品、流動食、濃厚流動食、  
糖尿病用食品、腎臓病用食品、食物繊維食品等  
食器、ポット、**使い捨て哺乳瓶**、衛生物品対策セット、マスク、キャップ等

# 気仙沼市における食の状況

避難所への食事の供給状況(4月2日)被災3週間後

地域	朝	昼	夕
A 370人	抜き	おにぎり、缶詰、 果物	アンパン
B 1100人	パン	おにぎり	デニースの宅配
C 550人	パン	おにぎり	おにぎり アンパン

平均摂取エネルギー1000キロカロリー / 厚生省基準2000キロカロリー

避難所の食事情

平成23年4月7日

鹿折中学校避難所での自衛隊の炊き出し(夕食)

ラップに包まれたご飯



具だくさん?の味噌汁



発災後、既に1ヶ月近く経過し、おにぎりのみそ汁の食事で、  
栄養的に問題はないと言えるのだろうか？

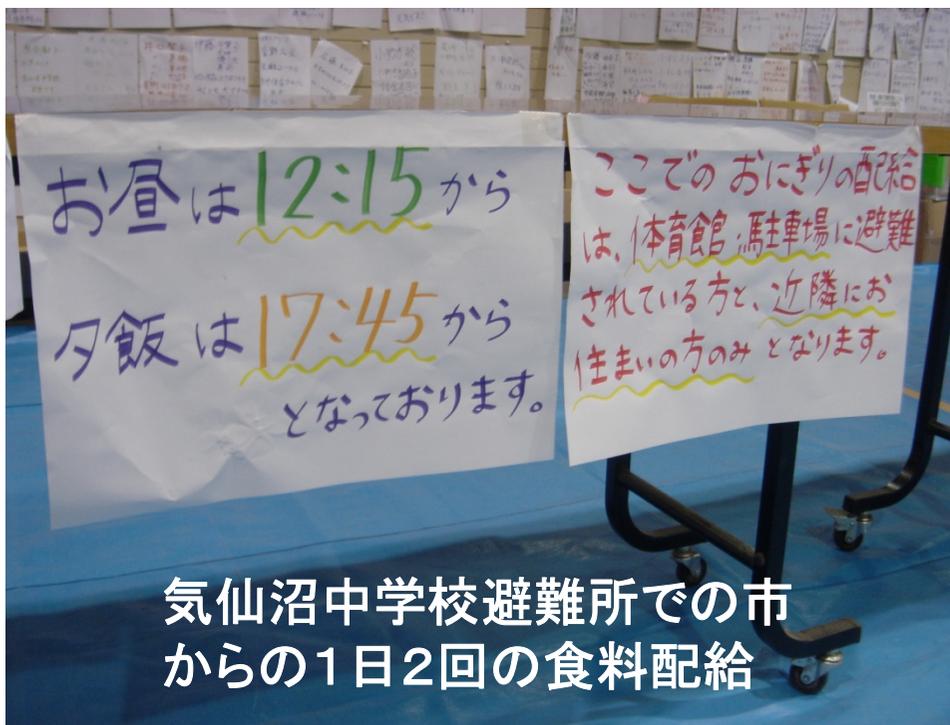


「おにぎりどみそ汁があれば、  
栄養は問題ないんだいが？」

鹿折(ししおり)中学校避難所の冷たいおにぎり(翌朝分)



気仙沼市健康管理センター内の  
栄養関連支援物資



気仙沼中学校避難所での市  
からの1日2回の食料配給



汁は捨てられない

固いおにぎり

塩分摂取過剰で高血圧の方が増大

平成23年4月11日夕食  
気仙沼中学校避難所  
エネルギー 760kcal 塩分 4.6g

# 阪神大震災被災地における食の状況

## 避難所への食事の供給状況(被災後約3週間)

地域	朝	昼	夕
A	ロールパン、ジャム、バター、牛乳	おにぎり、佃煮、缶詰、果物	弁当(幕の内)
B	パン、牛乳	おにぎり、おかず(缶詰)	弁当(幕の内)
C	パン、缶詰、バター、牛乳	カップラーメン	弁当、カット野菜
D	パン、ジャム、バター、牛乳	カップラーメン	弁当(幕の内)又はおにぎり+炊き出し
E	パン、牛乳またはジュース	弁当(幕の内)	弁当(幕の内)
F	パン、牛乳	ご飯、おかず(肉類、卵、野菜)、汁物	ご飯、おかず(肉類、卵、野菜)

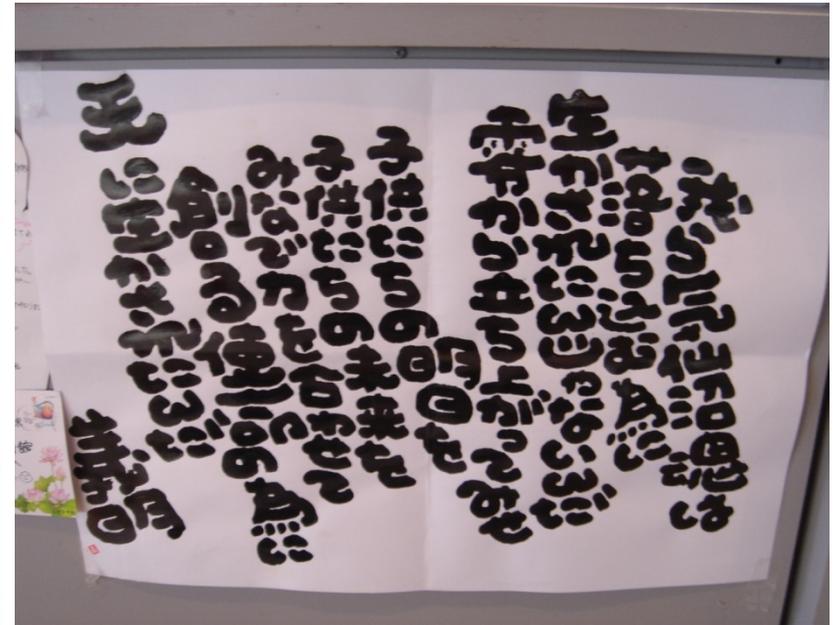
端午の節句 行事食



# 適切な栄養相談の実施



気仙沼中学校避難所での栄養相談



ケーウエーブでの栄養相談

## 第2回避難所食事状況・栄養関連ニーズの調査結果について

避難所における食事状況等について、下記のとおり第2回目の調査を実施しましたので調査結果をお知らせします。

- 1 調査の目的 第1回調査の結果、避難所で提供されている食事が十分でないとの結果を得たことから、避難所の栄養管理の改善に取り組んできたが、前回調査からの改善状況を確認するとともに、今後の取組につなげるため調査を実施した。
- 2 実施主体 宮城県（保健福祉部健康推進課）
- 3 調査方法 調査者が各避難所を巡回し、避難所（責任者等）からの聞き取りにより調査を実施した。  
**5月1日から5月20日の期間を調査**
- 4 調査時期 平成23年5月1日～5月20日（震災後51日目～70日目）
- 5 調査対象 被害の大きかった沿岸部の13市町に設置されている全避難所304か所（H23.5.2現在）  
沿岸部13市町 名取市、岩沼市、亘理町、山元町、塩竈市、多賀城市、松島町、七ヶ浜町、石巻市、東松島市、女川町、気仙沼市、南三陸町
- 6 調査実施数 設置避難所数304か所（H23.5.2現在）  
調査避難所数241か所、実施率79.3%
- 7 主な調査項目 (1)食事の内容（献立、量） (2)食事の回数 (3)個別配慮の状況 その他
- 8 調査実施者 管理栄養士（県職員、市町職員、他県派遣職員、(社)宮城県栄養士会等）
- 9 結果の概要 別紙のとおり
- 10 今後の対応 継続的に避難所の食事状況を把握するとともに、市町と連携しながら必要な助言等を行っていく。

## 第2回避難所食事状況・栄養関連ニーズの調査結果の概要

### 1 第1回調査(4/1~12実施)からの主な改善点等について

- (1) 調査した各項目について提供量が改善している。エネルギー量とたんぱく質量では、ほぼ目標量に達している。
- (2) 副食の提供回数が増加しており、「主食、主菜、副菜」という献立での食事提供が進んでいるとみられる。
- (3) 年齢や性別による盛り付けに配慮をする避難所が増加傾向にある。
- (4) 第1回調査では大規模な避難所で栄養不足の割合が高かったが、今回の調査時では500人を超える避難所が減少し4か所となっており、規模別の比較ができなかった。

### 2 避難所で提供する食事の栄養量

<栄養素別の提供状況>

有効分析避難所数:調査実施数 241 か所のうち 230 か所

	エネルギー	たんぱく質	ビタミン B1	ビタミン B2	ビタミン C
平均提供量(A)	1,842kcal	57.1g	0.87mg	0.96mg	48.4mg
前回調査結果	1,546kcal	44.9g	0.72mg	0.82mg	32.0mg
前回比増加率	19.1%	27.2%	20.8%	17.1%	51.3%
目標栄養量*(B)	2,000kcal	55.0g	1.10mg	1.20mg	100.0mg
(A)/(B)	92.1%	103.8%	79.1%	80.0%	48.4%

\*目標栄養量は、厚生労働省通知(H23.4.21)による。必要な栄養量は、年齢・性別・活動量などにより個人ごとに異なる。

### 3 食事の提供回数

・3回食:97.5%(前回調査:81.4%)

・2回食: 2.5%( " :18.6%)

### 4 食事内容について

<主食, 主菜, 副菜等の1日あたりの平均提供回数>

	主食	主菜	副菜	果物	牛乳・乳製品	野菜等ジュース
平均提供回数	2.9回	<u>2.0回</u>	<u>2.1回</u>	0.4回	<u>0.7回</u>	0.2回
前回結果	2.9回	<u>1.5回</u>	<u>1.6回</u>	0.5回	<u>0.2回</u>	0.1回

### 5 食事提供方法別の栄養量

「炊き出しあり」では, ビタミン類の提供量が多い傾向が見られる。「弁当あり」では, エネルギー量・たんぱく質量が多いが, ビタミン類の提供量が少ない傾向にある。

		エネルギー	たんぱく質	ビタミン B1	ビタミン B2	ビタミン C
炊き出し	なし	1,828kcal	58.1g	<u>0.74mg</u>	0.98mg	<u>39.6mg</u>
	あり	1,850kcal	56.6g	<u>0.94mg</u>	0.95mg	<u>53.1mg</u>
弁当	なし	1,798kcal	54.0g	<u>0.96mg</u>	0.98mg	<u>54.8mg</u>
	あり	1,904kcal	61.5g	<u>0.74mg</u>	0.94mg	<u>39.4mg</u>

### 6 避難者への個別対応

避難者への個別対応をする避難所が増加している。

項目	軟食対応	性別・年齢による盛り付けの配慮	子どもへの配慮
対応あり	7.9%	30.3%	18.7%
前回結果	—	10.2%	3.6%

## 避難所における食事に関する問題点

- おにぎり、菓子パン、カップ麺といった穀類中心の偏った食事提供(炭水化物、脂質、塩分の過剰摂取)
- 菓子類、ジュース類中心の支援物資の提供(糖質の過剰摂取)
- 肉類・魚類・乳類等の不足(蛋白質の不足)
- 野菜類、果物類の不足(ビタミン、ミネラル・電解質(カルシウム・カリウム・亜鉛)等の不足)
- 食事療法を必要とする慢性疾患患者、高齢者、乳幼児など個別対応が必要な者への支援不足

### 被災者の声より

「明日の食事が提供されるかどうかわからないので、今あるものを食べておかないとね」  
「自分だけが特別なものを食べられない、みんなと同じものでいいです」  
「善意で頂いたものを残すわけにはいかないので、全部食べます」  
「支援物資がたくさんあり、お菓子、ジュースなどが好きなときに好きなだけ食べられるのが嬉しい、甘いものを食べていると癒される」  
「今まで新鮮な魚を食べていたので、缶詰の魚はちょっとね～」  
「血圧が高いので、麺類の汁は残しましょうと言われるけれど、どこに捨てるの？」

# 県直営避難所「ビッグパレットふくしま」で提供されている食事状況調査結果 【調査期間:6月3日(金)~6月16日(木)】



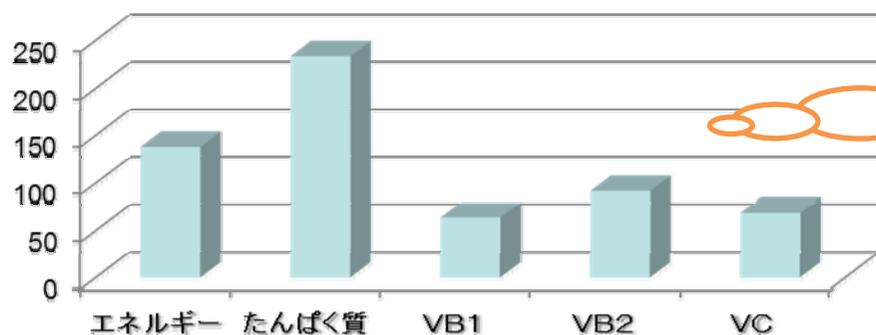
## (社)福島県栄養士会の支援活動

【日 時】6月3日(金)~7月1日(金)  
毎週金曜日(9時~16時)

【活動内容】

- ◇食事調査:6/3~6/16までの2週間
- ◇栄養・衛生面でのアドバイス:毎週金曜日

充足率(%)



エネルギーとたんぱく質は過剰、その他のビタミンは不足.....

	エネルギー(kcal)	たんぱく質(g)	ビタミンB1(mg)	ビタミンB2(mg)	ビタミンC(mg)
<b>平均提供量(A)</b>	<b>2765</b>	<b>128</b>	<b>0.7</b>	<b>1.1</b>	<b>69</b>
<b>国栄養参照量(B)</b>	2000	55	1.1	1.2	100
<b>(A)/(B)</b>	<b>138%</b>	<b>233%</b>	<b>64%</b>	<b>92%</b>	<b>69%</b>

# 肥満症の 治療障害要因

運動できない、遊ぶ  
にも瓦礫の中を？

過食・間食・偏食・早食い

運動不足

認知異常

動機付け

行動要因

明日のことすら  
考えられない  
被災者に、何  
年も先の合併  
症の事を考え  
て、食事に気  
を付けましょ  
うとは言えない。

肥

症

満

代謝要因

環境要因

遺伝的要因

インスリン感受性低下

糖・脂質代謝異常

エネルギー消費機能低下

ライフスタイルの変容

食生活環境の変化

高エネルギー食品

車社会

リズム異常

ストレス

揚げ物中  
心の弁当、  
お菓子等

## 【資料集】

### 食事相談の案内のチラシの例

#### 食事（栄養）のことで、 ご心配なことがある方へ

食事や栄養のことで、不安なこと  
や相談したいことがある方は、お気  
軽に、次までご相談ください。

#### 例えば・・・

- ◆ 離乳食やミルクのこと
- ◆ 普段、糖尿病等で、食事制限をしている
- ◆ 固いものが食べにくい（ご高齢の方など）
- ◆ アレルギーがある など

上記以外でも食事や栄養のことで気になることが  
あれば、ご相談ください。避難所の食糧担当の方へ  
お伝えいただいてもよいです。

#### <相談先>

相談窓口名	刈羽村役場住民福祉課 又は 柏崎保健所地域保健課
連絡先 TEL	(0257) 45-3916 又は (0257) 22-4112
FAX	(0257) 45-2818 又は (0257) 22-4190



普通の食事が  
食べられない方は  
申し出てください。

- ・乳児用ミルク・離乳食
- ・おかゆなど軟らかい物
- ・塩分制限、たんぱく制限、糖尿病食  
アレルギー除去食  
などが必要な方

参考) 新潟県災害時栄養・食生活  
支援活動ガイドライン－実践編－  
[http://www.kenko-  
niigata.com/21/shishin/sonotakeikaku/  
jissennhenn.html](http://www.kenko-niigata.com/21/shishin/sonotakeikaku/jissennhenn.html)

## リスクを抑制するための今後の対応

- **避難所における個別栄養対策の推進**（栄養評価及び栄養補給）  
（支援物資の調整・避難所栄養格差是正・管理栄養士の配置・食中毒予防・仮設厨房の設置及び衛生管理等）
- **自宅で居住している被災者の栄養対策の実施**  
（栄養巡回指導等）
- **仮設住居入居後の健康保持増進対策の実施**  
（自立した生活・コミュニティ再建支援・栄養巡回指導及び支援体制の整備）
- **仮設住宅及び自宅居住者への訪問栄養食事指導の推進**（栄養ケア・ステーションによる活動の展開）  
（慢性疾患患者に対して、診療所等の地域の医師と連携した管理栄養士の訪問栄養食事指導の必要性） 居宅療養管理指導
- **感染症予防・蔓延防止**
- **心のケア**（災害支援管理栄養士・栄養士の心のケア含む）

# 子どもの食の問題点への対応

## ● 乳幼児のミルク・離乳食等への対応

災害時の乳幼児栄養に関する指針 改訂版 2011. 4 母乳育児団体連絡協議会作成より

- ・海外では人口乳首つきの調整液状乳(あらかじめ調乳された人口乳)があるが、我が国では現時点では法的規制により利用できない⇒法改正？

乳及び乳製品の成分規格等に関する省令

(昭和26年12月27日厚生省令第52号)第2条37項

**調製粉乳** 生乳、牛乳若しくは特別牛乳又はこれらを原料として製造した食品を加工し、又は主要原料とし、これに乳幼児に必要な栄養素を加え**粉末状**にしたもの

## ● 食物アレルギー児の食事への対応

- ・行政等での災害備蓄用食品の中にアレルギー対応食を確保する必要性

## ● 特殊な疾患をもった患児の食事への対応

- ・経腸栄養剤、とろみ剤、特殊食品(特殊ミルクを含む)等の確保

サンタの国から支援  
届けられた“液状ミルク”

あかちゃん

います

生後1～2歳の赤ちゃんの体重9kgに対して栄養1000kcalと50～59歳の体重60kgの成人に対して2000kcal。基礎代謝基準値は1～2歳児は約60kcal/kg体重/日、50～59歳は約20kcal/kg体重/日

おっばいあげるのも大変  
(粉ミルク)調乳するのも

おっばいあげるのも大変だろうし  
(粉ミルク)調乳するのも大変だろうし

FNN

## 子どもの食の問題点への対応

- 避難所等における子どもの食事への対応
  - ・子どもの食事への配慮(量・バランス・味・固さ等) **栄養アセスメント**
- 学校給食の早期再開と安定供給への対応
  - ・●●市の小・中学校55校 給食のおかず1品減 「被災地の痛み分かち合おう」?? 東日本大震災の被災地への配慮と物流の不安定さから、給食のおかずの数を1品減らす「応急給食」に切り替える。  
⇒ **日本栄養士会より文部科学省に情報提供し、善処方を依頼**
- 災害時の食(習慣)の是正
  - ・食環境の改善、整備⇒ **食事支援のあり方の検討が必要**

平時における「食育」への取り組みが重要



## 今後の食事支援の考え方

- カット野菜・フルーツ
- クックチルシステム
- 配給・管理方法





# VI. JDA-DAT(災害時緊急支援栄養チーム)について



サンタの国から支援  
届けられた“液状ミルク”

住  
竹本悦子さん

テレビを見て私みたい  
に子供を持ったお母  
さんはどうしてるん  
だろう?と

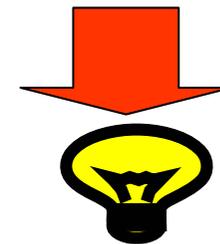


# 被災地のManagement 6R's

- § Right information 適切な**情報**を基に
- § Right Time 適切な**時**に
- § Right Place 適切な**場所**へ
- § Right Person 適切な**人**が
- § Right Materials 適切な**器材**を持って
- § Right Coordination and Cooperation 適切な**調整・協力**



を受け救援活動を行う。





## JDA-DATとは？(案)

JDA-DATとは「災害発生地域において栄養に関する支援活動ができる専門的トレーニングを受けた栄養支援チーム」と定義しており、日本栄養士会災害派遣栄養支援チーム Japan **Dietetic** Association - **Disaster Assistance Team** の頭文字をとって略して **JDA-DAT**(ディーダット)と呼びます。

災害支援管理栄養士等2～3名と被災地管理栄養士等1名で構成され、国内外で大規模災害が発生した地域において、避難所、施設、自宅、仮設住宅等で被災者に対する栄養に関する支援活動ができる専門的なトレーニングを受けた栄養支援チームです。



# JDA-DAT着用ジャケット（案）



ミルクやアレルギー食品

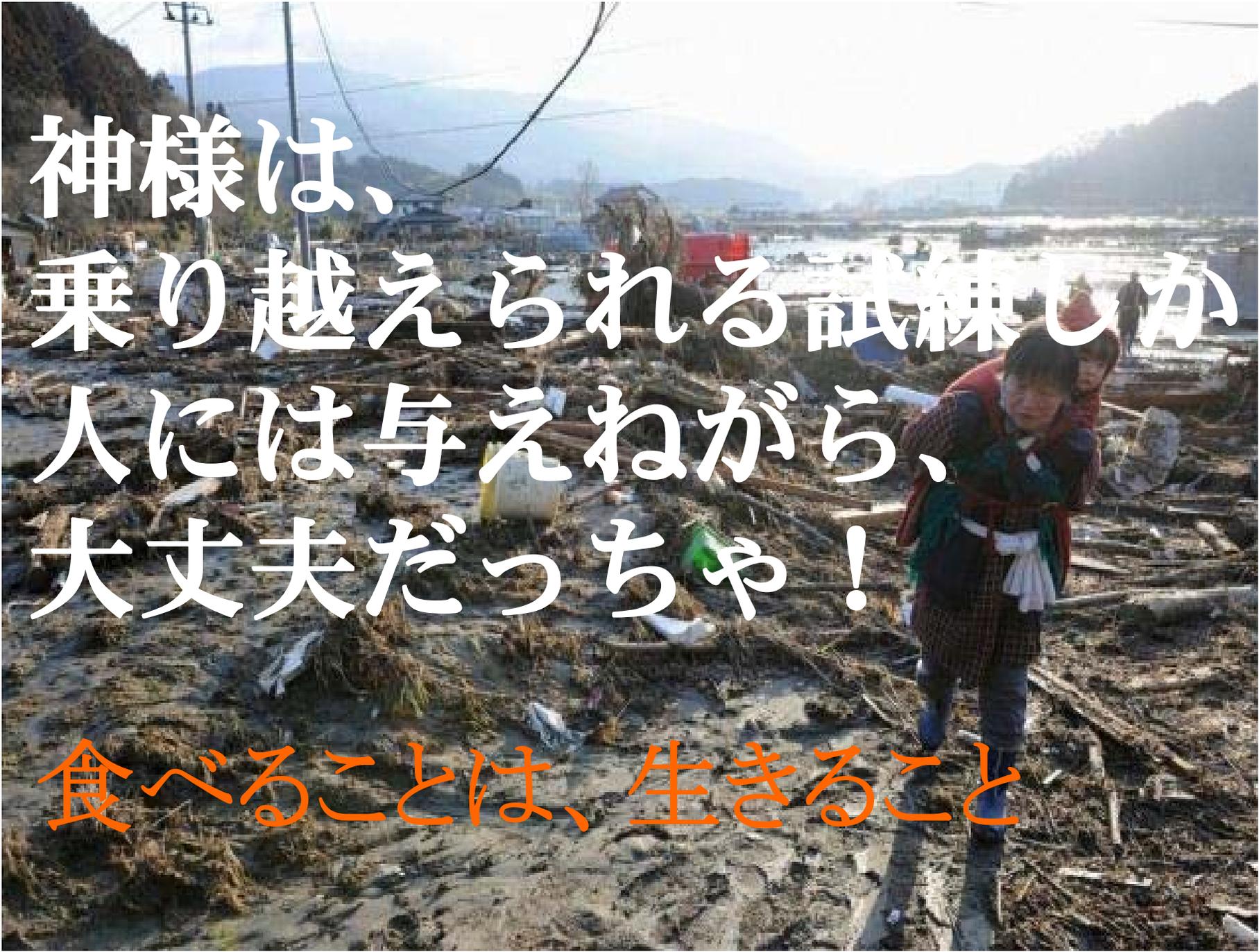


とろみ剤・流動食



緊急搬送車両

関連業者との事前提携が必要

A photograph of a disaster-stricken area, likely after an earthquake or tsunami. The ground is covered in mud and debris. In the background, there are damaged buildings and mountains. A woman in a red jacket is carrying a child on her back, walking through the debris. The text is overlaid on the image.

神様は、  
乗り越えられる試練しか  
人には与えねがら、  
大丈夫だっちゃ！

食べることは、生きること



ご静聴ありがとうございました。また今回の活動におきまして ご支援いただきました方々に厚くお礼申し上げます。

被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。